

ノート PC を購入しなかった新入生へ

平成 22 年 4 月 6 日

## Vine Linux4.2 のインストール手順

知能情報工学科ノート PC 選定委員

始めに)

1. 自分のノート PC のスペックが条件を満たしているか、  
<http://www.ca.csse.yamaguchi-u.ac.jp/notepc10/>  
のページを読んで確認してください。下記手順はこの HP にも書かれています。
2. 下記、手順を良く読んで作業を行ってください。出来ない人のほとんどは良く読んでないようです。
3. 決して、デュアルブートでのインストールではないので、行わないでください。ノート PC 上のデータが全部失われる可能性があります。失敗する人はデュアルブートでのインストールと書いていないのに、勝手に作業を行った人です。

概要)

Linux を Windows 上で動作するように、VMware Player という仮想マシンを動作させるソフトをインストールし、その上で Vine Linux を動作させます。Vine Linux がインストールされたハードディスクの仮想イメージは HP(ネット)に置いています。各種設定及びソフトウェアは既にインストール済みなので、ダウンロードするだけで動作します。ですので、Vine Linux のインストールや各種ソフトウェアのインストールは行う必要はありません。

手順)

1. VMware Player(VMware-player-3.0.1-1227600.exe)を  
[http://www.filehippo.com/download\\_vmware\\_player/](http://www.filehippo.com/download_vmware_player/)  
からダウンロードする。
2. ダウンロードした VMware-player-3.0.1-1227600.exe をダブルクリックして、VMware Player をインストールする。インストール中に聞かれることには全て「Yes」を選択する。
3. Linux がインストールされたイメージファイル(VMwareImage.exe)を  
<http://www.ca.csse.yamaguchi-u.ac.jp/notepc09/VMwareImage/>  
からダウンロードする。
4. VMwareImage.exe をダブルクリックして、VMware イメージを解凍する。解凍場所

は「C:¥」を指定して、C:¥VMwareImage¥VineLinux42 のフォルダに 3 つのファイル (VineLinux42.vmdk、VineLinux42.vmx、ReadMe.txt) があるようにする。

→ 拡張子が表示されない場合は下記を実行して表示されるようにする。

#### ○Windows 7/Vista の場合

- 1) スタートメニューから「コンピュータ」をクリックする。
- 2) Alt キーを押してメニューバーを表示させ、[ツール] - [フォルダオプション] をクリックする。
- 3) 「表示」タブをクリックし、“登録されている拡張子は表示しない” のチェックをはずす。
- 4) [OK] をクリックする。

#### ○Windows NT/2000/XP/Me の場合

- 1) マイコンピュータのメニューバーで [ツール] - [フォルダオプション] をクリックする。
  - 2) 「表示」タブをクリックし、“登録されている拡張子は表示しない” のチェックをはずす。
  - 3) [OK] をクリックする。
5. C:¥に share というフォルダを作成する(C:¥share になっているか確認する)。  
→Windows の C:¥share と VineLinux の/mnt/hgfs/share のフォルダが共有され、このフォルダにファイルを置くと、異なる OS 間でファイルの共有が出来る。
6. VineLinux42.vmx のショートカットをデスクトップ、またはスタートメニューに作る。  
→VineLinux42.vmxを実行することでVineLinuxが起動する。動作させるための情報は同じフォルダのReadMe.txtに書かれています。

#### 初回起動時の注意)

1. VineLinux42.vmx をコピーまたは移動しましたか? と質問されたら、「コピーした」を選択する。
2. Linux 起動中に英語でハードウェア (ネットワークデバイス) の構成が変わったと言われたら「消去 (Remove)」を選択し、ネットワークの設定を「DHCP」に設定する。
3. Vine Linux 起動時に Windows とは別途ユーザ名とパスワードを入力する必要がありますが、それは上記のように ReadMe.txt に書かれています。

以上の手順を読んで、大体のイメージがわく人は推奨 PC を購入しなくても大丈夫だと思います。上記手順を良く読んで設定してください。一方、さっぱりわからない場合は推奨 PC の購入をお勧めします。